



ユネスコ群馬

No. 80

群馬県ユネスコ連絡協議会

<http://gunma-unesco.com>

会長 樋口 克己

事務所 群馬県教育委員会生涯学習課

つなげよう平和の心 広げようユネスコの輪

国際平和と人類の共通の福祉という目的を促進するユネスコ活動



—表題ユネスコ創設の理念に基づき県ユ連の活動に取り組む—

群馬県ユネスコ連絡協議会
会長 樋口 克己

県ユ連総会を中止し、書面議決

本年度も昨年同様、コロナ禍の中で活動が制約されています。

5月22日（土）桐生市市民文化会館で開催予定だった県ユ連定期総会をコロナ感染症拡大防止のため中止し、書面議決としました。

書面表決については、予め定期総会に参加する意思表示をし、総会参加申込をされていた36名に議案書と表決書を送付し、返送された表決書を議案ごとに集計し、議決することにしました。

全議案が承認されました

集計の結果、各議案とも承認されましたことを報告申し上げます。詳しくは「表決の結果」をご覧ください。皆様の表決へのご協力まことにありがとうございます。

コロナ禍中の活動推進上の基本スタンス

書面表決で承認された2021年度事業計画に基き、本

年度の事業を推進して参りたいと思います。

ただし、コロナ禍で活動は制約されますが、感染防止に最大限の注意をはらいながら、県ユ連の事業を進めていきたいと思います。

本年度実施する県ユ連主催事業は、運営研修兼事務局員研修会、研修視察、県ユ連広報誌の刊行です。外国青年と交流する海外青年交歓研修会は、コロナ感染症拡大予防のため、残念ですが中止とさせていただきます。研修視察については、7月3日に中之条で開催を予定しています。

専門委員会の活動は、ユネスコスクール研修会と世界遺産研修会を予定しています。補助事業は、交際理解バスと絵画等作品展を実施する県内ユ協を支援したいと思います。

広報活動については、本協議会の広報誌『ユネスコ群馬』を例年通り年2回刊行し、会員の皆様への広報と情報提供を充実させていきたいと考え、7月に80号、1月に81号を発行・配布する予定です。併せて、ホームページを一層充実し、群馬県ユ連からの情報を発信したいと考えています。

コロナ禍で多難な一年となります。本年度も県ユ連の活動によろしくご理解ご協力を賜りますようお願い致します。併せて、県内各ユネスコ協会及びソロプロチ前橋のご健闘と会員並びに関係各位のご健勝を祈念申し上げます。

表決の結果

		賛成（内：一任）	反対
議案第1号	2020年度事業報告	36 (16)	0
議案第2・3号	2020年度決算報告並びに監査報告	36 (16)	0
議案第4号	関プロ群馬大会事業報告	36 (16)	0
議案第5・6号	関プロ群馬大会決算報告並びに監査報告	36 (16)	0
議案第7・8号	2021年度活動方針（案）並びに事業計画（案）	36 (16)	0
議案第9号	2021年度予算（案）	36 (16)	0

※期日までに未回答の16名は「表決のお願い」に明記どおり県ユ連会長へ一任とし、賛成としました。

**2021年度
(令和3年度)**



活動方針

- ユネスコの理念を次世代に伝え、後世にも活動をつなげていく。
- ユネスコ活動を普及し、世界平和を目指す活動の輪を広げる。
- 持続可能な社会の構築を目指し、持続可能な開発のための教育（ESD）の普及及び持続可能な開発目標（SDGs）の達成に努める。
- ユネスコ世界遺産に関する民間活動を推進し、世界遺産・地域遺産・未来遺産に関する情報発信や保護保全等の活動を進める。
- 日ユ協連が推進する事業に連携・協力して、世界寺子屋運動等を推進する。

新会長として初の県ユ連事業

桐生ユネスコ協会
会長 田中 一枝

5月22日（土）、2021年度県ユ連定期総会を桐生市市民文化会館の国際会議室で開催予定でしたが、残念なことにコロナウイルス感染拡大防止のため止む無く中止となりました。

事業計画

	事業名	期日／会場	備 考
県ユ連主催事業	定期総会	5月22日（土） 桐生市市民文化会館 (中止)	書面表決に変更
	運営研修兼事務局員研修会	未定	館林ユネスコ協会主管
	研修観察	7月3日（土） 中之条ツインプラザ交流ホール	中之条ユネスコ協会主管
	海外青年交歓研修	中止	コロナ禍により
専門	広報「ユネスコ群馬」第80・81号刊行	発行7月 1月	県ユ連広報委員会担当 会員全員及び関係者に配布
	ユネスコスクール研修会	未定 藤岡総合学習センター	ユネスコスクール委員会担当
	世界遺産研修会	未定	伊勢崎ユネスコ協会主管
補助事業	国際理解バス	8月中又は中止 訪問先は東京又は筑波JICAや都内大使館等	国際理解・国際交流を図るためユ協毎に児童生徒対象に実施
	文化活動補助 絵画等作品展の補助	4ユ協毎に実施	児童生徒の絵画等の作品の展示会を単位ユ協が行う。
会議	理事会	年間6回（隔月開催） 高崎市中央公民館／前橋プラザ元気21	コロナ感染状況により会場の変更あり
	役員会議	適宜開催 前橋プラザ元気21	本部役員と事務局員参加
日ユ協連	日ユ協連定期総会	6月12日（土） 東京	形式未定
	日本ユネスコ運動全国大会	12月5日（日） 大阪府	オンラインで開催
	関プロ栃木大会	10月2日（土） 栃木県足利市	オンラインで開催
日ユ協連評議員会	年間3回開催	東京	本県の評議員が出席予定
	世界寺子屋運動（日ユ協連と連携協力）	通年	各ユ協が「書きそんじハガキ回収キャンペーン」を推進
その他	東日本大震災子ども支援募金（日ユ協連と連携協力）	通年	各ユ協が募金を継続、震災被災者に就学支援

昭和23年、群馬県で最初に発足した歴史ある桐生ユ協が近年弱体化し、会員がわずか20名という存続が危ぶまれる状態となり、昨年樋口県ユ連会長より「桐生で県ユ連総会を開催し桐生ユ協を元気づけましょう」という提案があり、お受けしたと聞いております。その後、総会のことで時折お電話を頂き、5月1日には、「明日からステージ3になりますが動搖しないで下さい。余程のことがない限り総会は開催するつもりです。」と、静かな口調の中にも会長の開催決行への強い想いが伝わり心より感謝を致しました。

そんな県ユ連の皆様の励ましを頂く中で、総会は時節柄地味ではあっても絶対に感動ある会として成功をさせたいという理事・会員の強い意志が、一か月余りで会員33名（5月現在41名）への増員に繋がりました。

新会員には、税理士、女医、県会議員、市会議員、社会保険労務士など多種多様の職業の方がおられます

が、大半は40代～50代の経営者です。今後、桐生ユ協は経験の長い会員と若くパワーのある新会員とのコラボで変革が始まると存じます。

中止になりましたが今回の総会は、若い新会員に司会、受付、会場への案内係等をお手伝い頂き、ユネスコへの興味と理解を更に高めて頂ける良い機会になると期待しておりました。特に新会員でもある28歳の青年の電子オルガン演奏によるアトラクションは、きっと参加者の皆様には非常に感動して頂けたものと確信しております。わずか15歳で電子オルガンの全国優勝を果たし、その後もローランドオルガンコンクールにおいて史上年少優勝等、何度も優勝を果たす一方で、現在門下生の指導や海外でも大変活躍している青年です。

結びに、長い間桐生ユネスコ協会長として貢献されてきました北川前会長には及びもつきませんが、皆様のお支えを頂きながら活気ある桐生ユネスコの活動に努力して参る所存です。

予算

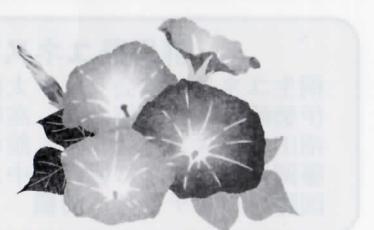
1 収入 (単位：円)

項目	予算額	摘要
繰 越 金	56,111	前年度繰越金
会 費	490,000	会費 (40,000×12ユ協+10,000×1)
事 業 収 入	390,000	事業費 240,000円 (20,000×12ユ協) 名刺交換代 150,000円 (2,000×75人)
補 助 金	70,000	群馬県教育委員会補助金
雜 収 入	20	普通預金利子
合 計	1,006,131	

2 支出 (単位：円)

項目	予算額	摘要
会 議 費	30,000	理事会等会議費
旅 費	60,000	各種旅費
通 信 費	30,000	切手等通信費
印 刷 費	260,000	各種印刷経費 1万円 広報年2回発行 25万円
消 耗 品 費	35,000	事務用品等消耗品費
事 業 費	436,000	
事 業 費 内訳		
単 ユ 協 助 成	156,000	13,000×12ユ協
県 ユ 連 総 会	30,000	桐生※
運 営 研 修	50,000	館林
海 外 青 年 交 歓 研 修	0	中止
研 修 観 察	50,000	中之条
世 界 遺 産 委 員 会	30,000	伊勢崎
ユ ネ ス コ ス ク ル 委 員 会	50,000	藤岡地方
国 際 理 解 バ ス	16,000	2,000×8ユ協 (館林、大泉、藤岡地方、沼田、太田、前橋、富岡、高崎)
H P 維 持 管 理 費	30,000	
文 化 活 動 补 助 費	24,000	6,000×4ユ協 (伊勢崎、前橋、太田、高崎)
構 成 員 負 担 金	6,600	県教育振興会会費、日ユ協連会費
積 立 金	100,000	関プロ積立金 5万 創立60周年事業 5万
慶弔 費	20,000	
予 備 費	28,531	
合 計	1,006,131	

※5月22日の定期総会は開催中止となり、書面表決に変更となりました。



2020年度「第6回群馬県ユネスコスクール研修会」報告

ユネスコスクール委員会委員長 岸 正博

1 趣 旨：SDGs／ESDユネスコスクールの理解と実践の質的向上、並びに活動の推進を図る。

2 日 時：2021年1月27日（水）13:00～15:30

3 会 場：藤岡市総合学習センター会議室

4 参加者：ユ協会員、県内小中高の教員、教委関係職員等、66名。

※ 新型コロナウイルス感染予防のため、Zoomによるオンライン開催とした。



5 日 程：

(1)開会

(2)主催あいさつ（県ユ連会長 樋口 克己）
(委員会委員長 岸 正博)

来賓あいさつ（藤岡市教育長 田中 政文 様）

(3)ユネスコスクール活動報告・現状と課題

・「SDGs／ESDユネスコスクールと沼田ユ協の連携・協力」－利根実業高校の実践と沼田市内小中学校の事例紹介－（沼田ユ協事務局長 大島 俊夫氏）
利根実業高校の実践と社会的評価の紹介。SDGs／ESDの積極的な発信を行い、各種の受賞歴を有する。ユ協から市校長会にSDGsへの取組を働きかけ、各校での取組の概要を報告した。

・「東中SDGs宣言」

（藤岡市立東中学校校長 高橋 博氏）

生徒会役員の国際理解バスでの学習体験から、全校にSDGsを紹介することから取組が始まる。教育活動をSDGsの視点から見直し、校区の小学校とも連携し、活動を進めている。

(4)質疑・協議

指定討論者（西澤 恭順、新井 秀一）

今後、各校での教科横断的な視点による単元配列表の作成など、カリキュラムマネジメントの充実と地域との共有が求められる。

(5)閉会

訃 報

群馬県ユネスコ連絡協議会第9代会長の土田正氏におかれましては、病気療養中のところ、2021年4月19日に満83歳にて永眠されました。ここに謹んでお悔やみ申し上げるとともにご冥福をお祈りいたします。

氏は、2002～2003年の2年間、群馬県ユ連会長の職にあり、県内各ユ協の連携を図るとともに県ユ連の組織の活性化と活動の充実のため活躍されました。

また、2000～2003年の4年間、沼田ユネスコ協会の会長を務め、沼田ユ協の発展充実のため尽力されました。

なお、2021年4月22日に執り行われた葬儀の際は、生花を供し県ユ連として弔意を表しました。

あとがき

江戸後期、同じように外国から持ち込まれたコレラという流行り病があった。数年おきに大流行し明治19年（1886）をピークとし終息に向かう。実に70年以上を要したという。終息には1879年バスクール開発のワクチンが画期的な役割を果たした。コロナもしかり。ところで、明治19年政府の出したコレラ予防の4原則がある。1から3までは、水、土壤、排水設備への心得。その4に「なるべく多くの人たちを集合させない」とある。コロナの最も確実な予防法は、江戸から何十年もかかって実は明治に答えが出たものだった。

県ユ連ではワクチンが行き渡るまで、計画実施に当たってマスク、手指消毒、検温との普遍的な予防法を厳守していきたい。

編集委員長 松本千恵子

群馬県ユネスコ連絡協議会

桐生ユネスコ協会	太田ユネスコ協会
伊勢崎ユネスコ協会	高崎ユネスコ協会
沼田ユネスコ協会	館林ユネスコ協会
藤岡地方ユネスコ協会	中之条ユネスコ協会
国際ソロプロミスト前橋	

加盟団体

前橋ユネスコ協会
富岡ユネスコ協会
安中碓氷ユネスコ協会
大泉ユネスコ協会

編集・発行

群馬県ユネスコ連絡協議会
発行責任者 樋口克己
群馬県前橋市大手町1-1-1
群馬県教育委員会生涯学習課内
電話 027-226-4668